

## 堺市消防局 救急ワークステーション開所!!

(*Sakai City Fire Bureau Ambulance Crew Station*)

— 特別救急隊 (フェニックス アンビュランス) 発足 —

堺市消防局では、7月1日、市立堺病院が堺市立総合医療センターとして新築移転することに合わせて、「堺市消防局救急ワークステーション」を併設し、同日開所します。

救急ワークステーションとは、医療機関と消防機関が連携し、病院内等での救急隊員の知識・技術の向上を目的とした「教育」の拠点のことを言います。国家試験に合格した救急救命士を救急ワークステーションに配置し、指導的立場の救急救命士のほか、医師・看護師が病院実習等を通して指導・助言を行い、スペシャリストの救急救命士を育成する施設として活用します。

また、救急隊は通常消防署で待機し、119番通報等を受けて出場し、傷病者を病院搬送しますが、救急ワークステーションの救急隊は、病院が拠点のため、必要に応じて医師・看護師が救急救命士と一緒に救急車に同乗し「ドクターカー」として運用するほか、多数傷病者が発生した場合には、スムーズに救急活動が行えるよう他の救急隊の統制等を行います。

このように、救急ワークステーションに常駐する救急隊は、特別な機能を持つ救急隊であることから、「特別救急隊」と称し、愛称を『フェニックス アンビュランス』と名付けました。

これまで以上に消防局と病院側とが顔の見える関係を構築し、ドクターカーの運用をはじめ、救急隊員が質の高い教育を受けることで、病院前救護体制の充実と救命率の向上に努めていきます。

### 【施設概要】

名 称：堺市消防局 救急ワークステーション

住 所：堺市西区家原寺町1丁1番3号

電話番号：072-272-9119

構 造：鉄骨造 地上2階建て

敷地面積：455㎡

延床面積：630㎡（1階301㎡、2階329㎡）

1階・・・車庫、事務室、消毒室等

2階・・・会議・研修室、更衣室、シャワー室、仮眠室、食堂等

配置車両：特別救急隊用救急車両1台、非常用救急車両1台

【救急ワークステーションの主な機能】

- ・重症事案発生の際、医師・看護師が同乗しドクターカーとして運用
- ・医師が同乗しない時間帯は、通常の救急事案に出場
- ・多数傷病者発生時は救急指揮隊として位置づけ、他救急隊を統制
- ・救急指導係として、他の所属救急隊員を救急活動訓練等で教育指導
- ・国家試験に合格した救急救命士を専属で教育指導
- ・メディカルコントロール業務（検証会議等）の管理運営
- ・救急救命士の病院実習における指導・助言

（図1）特別救急隊（フェニックス アンビュランス）



通常の救急隊車両のデザインに『フェニックス アンビュランス』のロゴマークを表記しました。  
また、車両後方の斜めに描かれた2本の線は、それぞれ「救急」と「医療」を表し、お互いの連携で、より一層救命効果が向上することをイメージしデザインしています。

（図2）ヘルメットの色を見ればわかる特別救急隊（救急救命士）

【特別救急隊】



【通常救急隊】



他の救急隊との識別を図るため、特別救急隊はブルーのヘルメットを装着し、医師・看護師と一緒に救命活動を行います。